

さくら会*会報

「植草学園さくら会」初年度の活動について

植草学園さくら会 会長 小林鶴枝

植草文化服装専門学校、植草家政高等専修学校、植草幼稚教育専門学校、植草学園大学附属高等学校(植草学園文化女子高等学校)、植草学園短期大学を卒業された卒業生の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

植草学園で育てていただいた私たち卒業生は、各校それぞれに同窓会組織を持ち、個々に活動をしてきましたが、これからは、各同窓会が結束し、同窓生の交流、親睦を図り、併せて学園との連携を強化し、学園の発展を図りたいと考え、平成21年3月より、各同窓会の代表者、短期大学・附属高校の先生方、学園事務局の方々と検討を重ねた結果、「植草学園さくら会」を、平成22年4月をもって発足いたしました。各校の同窓会活動も大切にしながら、今後は連合会としての役割も果たしていきます。会員の皆様にはご支援、ご協力をいただきたく、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、平成22年11月20日(土)には、初年度の植草学園さくら会の事業として、植草学園さくら会合同企画ビンゴゲーム大会(附属高校バトントワリング部友情出演)を、大学・短大の大学祭

「緑栄祭」(メインステージ)にて開催いたしました。(ディズニーリゾートペアパスポート券等の豪華景品を用意し、ビンゴゲームカードを1枚100円で販売)



企画段階では、顔も知らない各校の同窓生同士、当然よそよそしい雰囲気が見え隠れし、合同企画委員の皆さんのご苦労は大変なものでした。それでも一緒に活動するにつれ、やはり植草学園で育てていただいた同窓生同士。皆さんはアイディアも豊富で行動力があります。母校を思う気持ちも同じです。この活動を通じ、役員同士の心の点と点が線になり、そして、小さな「和」になつて行つたように感じました。ビンゴゲーム終了後、合同企画委員の顔に充実感が漂っていました。この「和」は、いずれ大きな「植草学園さくら会会員の和」となりますように願っています。



53,500円の売上金は、植草学園教育研究振興資金に寄付し、学生のために役立てていただくことになっています。今回このような形で、後輩の皆さんへの応援ができたことを大変嬉しく思っております。

また、緑栄祭の場をお借りしたこと、附属高校の生徒さんにも参加していただいたことで、学生・生徒の皆さんにも、同窓会活動の一端を肌で感じていただき、今後は、この後輩のみなさんが10年後20年後に、植草学園さくら会でも活躍してくれることがあるのではないかと、先輩としての楽しみの一つになりました。

反省点は数々ありますが、何よりも、会場の皆さんの雰囲気が、役員の背中を押してくれたようで、次年度への意欲も確認いたしました。初年度の活動として、ほぼ目的を達成できたものと役員一同喜んでおります。ご協力をいただきました皆様方に、感謝申し上げます。

植草学園の平成22年度

学校法人植草学園 事務局長 植草和典

植草学園大学では開学時に入学した学生が3年生となりました。このところ学外実習へ出て行くことが多いのですが、4年間の集大成となるよう皆頑張っています。彼らは名実ともに植草学園大学を引っ張っていく存在に成長しています。

短期大学では、今年、短大基準協会の第三者評価を受け「適格」認定を貰うことになりました。また、文部科学

省の就業力育成支援事業(GP)にも選定され、着実に短大の実力が評価されています。

附属高校の生徒たちが国体と障害者スポーツ大会の開会式で、プラカードを勤めました。また、福祉クラスが千葉市社会教育功労者(団体)として感謝状をいただくなど地域貢献で活躍しました。

附属弁天幼稚園では、昨年度設立の

植草弁天保育園の園児たちと相互交流(ひまわり会)を始めました。附属美浜幼稚園では長時間の延長保育を導入しております。

このように学園の各学校がそれぞれの学生・生徒・園児の健全で逞しい成長を願い、それを支援する教育活動が展開された1年間でした。

植草学園短期大学

会長挨拶

植草学園短期大学同窓会 会長 金久保利一

短大同窓会総会により承認を受け、今年度より会長の金久保利一です。短大同窓会では昨年度より、組織や活動内容の見直しを行い、今年度より新しい組織として運営がスタートしました。卒業生が気軽にキャンパスを訪れ、日頃の悩みや思い、疑問等を打ち明けられる場として活用してもらいたいと思い、今年度は3回、職場を語る会とミニ・ホームカミングデーを開催しました。今後も学生と同窓生の生の声を聞きながら、みなさんのためになるような活動を続けていきたいと思っています。



平成22年度 介護・保育・職場を語る会

平成22年3月、植草学園短期大学は地域介護福祉専攻31名、児童障害福祉専攻81名が卒業、特別支援教育専攻の9名、介護福祉専攻6名が修了しました。新同窓会会員を含めて現在、127名の10期生が社会へ旅立ちました。新同窓会会員を含めて現在、777名の会員となりました。

職場を語る会が4月24日・5月22日・12月4日の計3回、開催されました。4月と5月には、社会人なりたての方々を中心に、慣れ親しんだ植草学園に集まり、先生方や友達と一緒に、仕事の悩みや発見の話をしたりしました。また、実際に現場にて懐かしい話をしたり、仕事の悩みや発見の話をしたりしました。また、実際に現場にて懐かしい話をしたり、仕事の悩みや発見の話をしたりしました。ほんの少しの立ってからこそ、気がついたことや学んだことなどを楽しくお話ししました。ほんの少しの立ってからこそ、気がついたことや学んだことなどを楽しくお話ししました。ほんの少しの立ってからこそ、気がついたことや学んだことなどを楽しくお話ししました。



12月4日は講師の方3名、在校生25名、卒業生7名、教職員5名と多くの方が参加して下さいました。

現在就職している方同士で、仕事の不安や疑問などについて話したり、在校生の方が就職活動や仕事に就くことへの不安を先輩方と話し合ったりしました。介護、保育の各職種の方々の体験談を聞いて、卒業生も在校生も不安が解消され、また、在校生が授業で学んだことを発表することができたのではないかと思います。また、在校生が授業で学んだことを発表することができたのではないかと思います。また、在校生が授業で学んだことを発表することができたのではないかと思います。また、在校生が授業で学んだことを発表することができたのではないかと思います。

その後のティータイムでは、おいしいケーキとお茶を囲み会話を弾み、卒業生と在校生の交流も図れて、とても意義のある1日になったと思いました。
今後も同窓会が主体となって毎年開催したいと思います。



オープンキャンパス (8月21日) ～相談コーナー～



8月21日(土)にオープンキャンパスが行われ、相談コーナーで同窓生が現高校生の進路に関する相談を担当しました。県外、県内から多くの高校生が参加しました。児童・介護・特別支援の職場の先輩として、高校生たちからの相談を受けました。

将来、「自分で施設を経営したい」方や「保育士になりたい」方など、多くの方が相談コーナーに来てくれました。保育士の先輩からは「自分の夢をしっかりと持ち続ける」ことの大切さや「子どもたちを大切にする心」について、現場での出来事を交えながら、相談に応じていました。高校生は「絶対に植草短大に入学して、夢を実現したいです」と心強い言葉を残していました。



相談コーナーの様子

第10回 同窓会総会 (11月20日)

11月20日に同窓会総会が行われました。学長植草範子先生をはじめ、初代同窓会会長の橋本さんら多くの方がご出席されました。平成21年度事業・決算報告及び、平成22年度事業計画と予算(案)等が議題にあがり、また新役員の選出が行われました。



緑祭 (11月20日～21日)

2日間とも快晴で、多くのお客様が来校されました。今年はさくら会初の合同企画でbingo大会が行われ、売り上げ金を植草学園に寄付致しました。ありがとうございました。来年度もこのような企画を実施する予定です。よろしくお願いします。



文部科学省より選定されました！

平成22年度 大学生の就業力育成支援事業
就業力GP「専門性をコアとした就業継続力の育成」

編集委員より

今年度より、「植草学園短期大学同窓会会報」が「植草学園さくら会会報」として、リニューアルされました。今回、短大のページでは同窓会の役員が中心となって行なってきた1年間の企画を掲載しました。今後も幅広く、皆様にお伝えできればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

植草学園さくら会会報編集委員長 石川弘幸 編集委員 鈴木理佳

総会開催日の変更のお知らせ

11月に行われていた同窓会総会が、来年度は5月28日(土)に開催となります。同日に職場を語る会も開催いたしますので、多くの方々の参加をお待ちしております。詳しくはハガキ、ホームページでご連絡いたします。今後とも植草学園短期大学同窓会をよろしくお願いします。

植草学園大学附属高等学校

会長挨拶 発行によせて…。

植草学園大学附属高等学校同窓会 会長 信田 一美



信田さんは親子2代で植草学園の卒業生です！

時のたつのは早いもので、私が高校を卒業してから30年が過ぎようとしています。今も当時の友人に励まされ、高校時代を宝物のように感じ、ありがとうございます。学校の方針も女子教育から国際社会で活躍できる人材の育成へと変化し、さまざまな業界でご活躍されている卒業生の多さに驚かされています。

また私の2人の娘もこちらの卒業生です。まさか母娘2代でお世話になるなど想像していませんでしたが、学校説明会や麗峰祭などで学校を訪れたとき、明るく礼儀正しく接してくれた在校生の姿に感銘を受け、通いたいと思ったようです。おかげさまで2人とも無事卒業し、姉は短大も植草学園へ進学し介護福祉士として、妹は看護学生として充実した日々を送っています。

このようにお世話になった植草学園。感謝の気持ちでいっぱいです。私もうこれからは「さくら会」の一員として学園に貢献できればと思います。



今年度 教育実習生インタビュー

2010年5月30日から6月12日まで5名の大学生が本校で教育実習をしました。
5名の実習生のうち4名が本校の平成18年度卒業生でした。

今回は清泉女子大学4年竹内美優紀さんと和洋女子大学4年屋敷佳子さんに実習を終えた感想を語ってもらいました。

植草学園大学附属高校は在学中と同じように、温かくて、アットホームな高校でした。先生方も本当に熱心です。この学校の卒業生でよかったと思います。

竹内美優紀さん



久しぶりに高校に通うことができて、うれしかったです。先生方にも親切にしていただいてちょっと甘えちゃいました。できれば教師になって戻ってきてみたいな。

屋敷佳子さん



獨協大学3年
原澤亜実さん
オーストラリア
ブリスベン留学中。

平成14年卒 大岩(舟生)亜紗美さん
9月に女の子のお母さんになりました！



第29回 同窓会総会（9月18日）

9月18日、麗峰祭2日目に毎年恒例の同窓会総会が開催されました。学内の同窓会スタッフは、この日のためにお茶菓子や飾りなどを用意し、多くのみなさんに集っていただけるよう仕事の合間をぬって準備しました。今年は約30名の卒業生が参加してください、明るく和やかな雰囲気でとても楽しかったです。

今回は初の試みとして、1回、11回、21回卒業生のみなさんと総会のあとで同窓会を催しました。bingoゲームも盛り上がり、それぞれの思い出話に花が咲き、時がたつのを忘れてしまうほどでした。同窓生のみなさんも大変喜んでください、この企画は大成功でした。



完副校長あいさつ



編集
委員より

晴れてさくら会会報発行となりました！高校のページは卒業生みんなで創って行きたいと思っています。「こんな記事を載せてほしい！」「もっと〇〇にしてほしい！」などご意見・ご感想をぜひ高校編集部までお願いします！ならびに、さくら会に協力してくださる方も募集しています。みんなで仲良く【さくら会・高校の部】を盛り上げて行きましょう！よろしくお願いします。

植草学園さくら会会報編集副委員長 木村昌代
編集委員 竹村美紀 岡田眞貴子 蛍子紗央里

第30回は
2回、12回、22回の
同窓生のみなさんです。
ぜひご参加ください。

植草学園幼稚教育専門学校

会長挨拶

植草幼稚教育専門学校同窓会 会長 小林 鶴枝



幼専同窓生の皆様こんにちは!お元気でお過ごしでしょうか。

前会長佐藤タケ子さんは、18年間の長きにわたり、幼専同窓会会長としてご尽力くださいました。本当に疲れ様でした。先輩の後を引き継ぎました役員一同は、今後も変わらず、幼専の温かな伝統を大切に守っていきたいと思っております。

さて、私は現在、小倉キャンパスの教務課実習支援室に勤務しております。幼専の存在は無くなりましたが、幼稚園、保育所、施設等の現場では、幼専の卒業生の皆さんがバリバリ活躍され、短大、大学の実習生を、懇切丁寧に育ててくださっています。私の二女も植草学園大学に在学し、実習園で幼専出身の先生にご指導を頂きました。幼専がしっかりと続いていることを、肌で感じております。

最後に、植草範子校長先生は、現在植草学園短期大学長をされております。範子先生はいつも「命ある限り、幼専同窓会を守る」と気にかけてくださっています。短大にも大学にも、幼専の先生方が多数おられます。ぜひ一度、小倉キャンパスにお越しください。

◎ 思い出の学び場～幼専の今と昔～

皆さんが通っていた幼専校舎の2階は、現在植草弁天保育園となっています。講義室や教室がどのように変わったのかをご紹介します!



A組B組合同で授業を受けていた2階講義室は
みんなで遊ぶプレイルームになりました!



1AHR、1BHR、2AHRはかわいい保育室に
変身!!おもちゃもたくさんあります!



そしてなんと!
2BHRは給食室
に大変身!!毎日
2階からいい匂
いがしてきます!

保健室は子ども
たちをきれいに
するシャワー室
となりました。

◎ 平成22年度 第37回同窓会

平成22年11月20日(土)、植草学園大学のku-su ku-suで第37回同窓会が行なわれました。

お世話になった先生方と当時の懐かしい話や近況報告をしながら、楽しい時間を過ごしました。

会場が移ってもなお、幼専の温かい雰囲気は変わることなく、今年もたくさんの笑顔が溢れた和やかな同窓会になりました。

また、同窓会が終わった後も「緑栄祭」のいろいろなイベントに参加することができ、大変充実した1日となりました。

お忙しい中、足を運んでくださった皆さん、ありがとうございました。



お子様と一緒に出席された方も多くいま
した!



今年もおいしいパンやお菓子を頂きなが
らあつという間の楽しいひとときでした。



同窓生代表の幸保さん
とお子様の瑠希也君より、花束の贈呈を受ける
範子先生。いつまでも変わらないお優しい笑顔
が印象的でした。



幼専を卒業後、それぞれの道で活躍をされていた同窓生の2名の方が「はじめの一歩」を踏み出しました。記念すべき1回目の“同窓生の窓”は現在植草学園短期大学専攻科介護福祉専攻に在籍し、介護福祉を学んでいらっしゃる藤本ひとみさん(6期)と星野恵子さん(6期)にお願いしました。

● 波瀬万丈、ただ今学生 ●

植草学園短期大学 専攻科介護福祉専攻 藤本ひとみ／星野恵子

みなさん、こんにちは。私達は植草幼稚教育専門学校の6期生として卒業しました。

卒業後は幼稚園に勤務し、忙しいながらも子どもたちとの楽しい毎日を数年過ごしました。卒業後1年目は、保護者の方とのコミュニケーションをとることが大変でしたが「日常五心」を心にとめて関わることで円満な人間関係を築くことが出来ました。今でも30年前の教え子からの結婚報告の写真や年賀状のやり取りは楽しみの一つとなっています。

毎年同窓会から送られてくる「搖籃」で、専攻科介護福祉専攻の存在を知り、保育士の資格があると1年間の学びで介護福祉士の国家資格を取得出来ると知り、このチャンスを生かして是非もう一度現場に戻りたいと思いました。

自分達の親も高齢となり、介護の必要性を感じ専門的な介護支援技術を学ぼうと思いました。入学してから魅力的な先生方の講義を受ける中で、親の介護にも直面し正しい知識と確かな技術の重要性を確認することができました。

学内では、あちらこちらからピアノの練習も聞こえてきて、過去に練習した曲もあり、学生時代を思い出しひピアノ

のレッスンで努力した日々を懐かしむこともあります。くじけそうな時に植草範子先生や黒田静江先生に会いに行き励まされた事は大変心強く、苦しい時も乗り越える事が出来ました。

クラスメイトは自分達の娘より若く、先日の学園祭ではクラスTシャツも作り明るく楽しいキャンパスライフを送っています。この写真は、その時の記念に撮ったものです。

施設での実習は、学校での学びを生かし介護技術や介護過程の実際を現場で体験する事が出来ました。実習での貴重な経験を土台として更に学びを深め残りの学生生活を有意義なものとなる様に、2人で協力しながら頑張りたいと思います。

卒業後は介護福祉士として就職し、社会に貢献できるよう努力し続けたいと希望しております。



幼専33期34期の卒業生で結成されたミュージカル劇団です。

平成18年の後夜祭で行われた「ライオンキング」をはじめ、翌年には33期35期も加わり「アラジン」を発表しました。現在では9名が在籍し、休日に市内のコミュニティで稽古に励みながら、ボランティア公演やファミリーコンサートなどの活動を行っています。今後の公演予定は随時ホームページに掲載されるそうですので、皆さんもぜひ卒業生の活躍する舞台を観に行ってあげてください!

HP→http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=gekidan_lion_tail



2009年11月に行われた
ファミリーコンサート
ミュージカル「葉っぱの
フレディ」の様子とボスターです!!



編集
委員より

昭和62年7月の第一号発行から、23年間同窓生の皆さんに親しんでいただいた「搖籃」が、
今年度から「植草学園さくら会会報」として生まれ変わりました。
服専、家政、幼専、高校、短大とそれぞれの力を合わせ、充実した会報をお届けできたの
ではないかと思います。これからもよろしくお願ひいたします。

植草学園さくら会会報編集副委員長 鈴木香菜 編集委員 出木麻子 石川明子 小笠原晴代

幼専同窓会新聞
「搖籃」第1号

植草文化服装専門学校 岡田 泰子

母校の植草学園は明治37年創立以来、植草文化服装専門学校・植草家政高等専修学校両校の卒業生は25,000人を超える、創立当初の建学の精神を守り、誠実に努力し、信頼される社会人として、あるいは家庭人として大きく貢献されて参りました。永年にわたる同窓生の皆様のご活躍は植草学園の今日における目覚ましい発展の大きな原動力になっていると思います。



植草文化服装専門学校、 植草家政高等専修学校同窓生より

昨年は、多くの人材を世に送り出した前理事長植草あう先生の13回忌にあたりましたので、花を供え、ご指導いただいた日々を思い浮かべながら先生の教育にかける情熱とエネルギーに改めて感銘をいたしております。偉大な先生のご功績を偲び、お志に違わぬ日々でありますと心に銘じております。



弁天キャンパス
前理事長
植草あう先生銅像
植草文化服装専門学校
創立92周年記念
平成8年6月建立

植草文化服装専門学校 齊藤 京子

私は、母校の植草文化服装専門学校で、きもの科の教員として、平成7年3月まで勤務いたしました。服専の閉校に臨み、あらためて歴史の深さと社会への重要な役割を果たしてきたこと、そして卒業生の活躍があつたことを痛感いたしました。現在は、小倉キャンパスの植草学園大学教務課に在職しております。明るく元気な学生で活気に満ちあふれるキャンパスの中で、いつの時代も変わらない植草学園のやさしさを感じつつ、勤務させていただいております。

植草文化服装専門学校服飾デザイン科ファッショントレーニングコース(平成4年度卒業生)崔 賢美(崔 京子)韓国からの留学生

ご無沙汰しております。その後、私も家族も相変わらず元気で過ごしております。私が卒業した植草学園に大学が創立され、家族共々感激しております。

20年前に前理事長の植草あう先生よりいただいた「ひとすじの道」、さらに今回いただいた現理事長の植草昭先生の「ひとすじの道を継ぐ」は、いづれも感銘を受けました。お手紙や

植草家政高等専修学校 早川 佐知子

私は昭和40年植草家政高等専修学校併修科に入学し、4年間で洋裁と県立千葉東高等学校の通信課程を合わせて修得し卒業しました。故植草あう先生は生徒たちに大学進学の道を開きたいとの思いから、高等学校卒業の資格を取得できる科を創られたと聞いております。このお陰で私は短大で学ぶことができました。併修科4年生の必修科目で男性用のスーツを縫う一方、東高にも通学するなど、私にとっては大変充実した4年間を過ごすことができました。

写真等、何一つとっても私には、大事な宝物でございます。いつまでも忘れないすばらしい思い出です。植草は私の誇りです。時折、植草学園のホームページの情報に接し、発展する学園の姿を楽しみにしております。

理事長先生をはじめ家族のご健勝と植草学園のご発展を心よりお祈り申し上げます。

(2010年12月16日付で、現理事長植草昭先生に届いた手紙を)
紹介させていただきました。

平成22年度 植草学園さくら会の役員

- 顧問 植草学園理事長 植草学園副理事長 植草学園事務局長
植草学園附属高等学校副校长 附属高等学校事務長
- 会長 小林鶴枝
- 副会長 石川明子 田中一美 金久保利一
- 監査 齊藤京子 鈴木真紀子
- 理事 岡田泰子 早川佐知子 鈴木朱美 小笠原晴代 木村昌代
竹村美紀 岡田眞貴子 渡邊信哉 坂下紀子
- 合同企画委員長 小菅秀美 ● 会報編集委員長 石川弘幸
- 代議員 各校より計17名 ● 事務局 キャリア支援課



植草学園さくら会ホームページ

植草学園大学、植草学園短期大学のホームページメニューから、「植草学園さくら会(連合同窓会)」をクリックし、植草学園同窓会のホームページにお入りください。

URL <http://www.uekusa.ac.jp/>